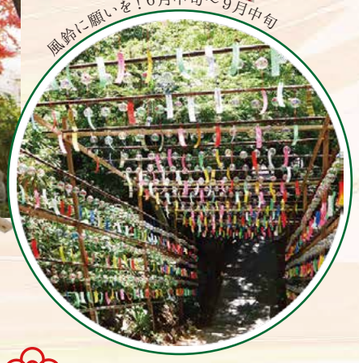
開運お散歩

一度は行きたくなる、心も体も元気になれるパワースポット。
縁結びや家内安全、商売繁盛、厄除け開運にも
ご利益がありますので、
ご家族など老若男女問わずにオススメです。

風鈴に願いを！6月中旬～9月中旬

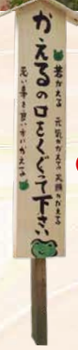


清影山 如意輪寺（せいえいざん にょいりんじ）

横隈観音とも呼ばれる如意輪寺。天平年間(729～749年)に行基によって開基されたと伝えられています。御本尊は如意輪観音(県指定文化財)で、皆さんの願いを思い通りに叶えてくださる観音様です。「かえる寺」の愛称でも知られ、約10,000体のかえるの置物が出迎えてくれます。また桜やあじさい、新緑や紅葉など季節の移ろいを楽しめるのも魅力のひとつ。特に夏には、願いごとを書いた風鈴が飾られとても幻想的な景色が広がります。

住 小郡市横隈1729
電 0942-75-5294

＼＼ぐってみよう／／



恋人の聖地
恋愛が成就すると言われる「愛染明王」や、願いの種類に対応した五色の紐を結ぶ「水掛け不動」など、恋愛に関するスポットにもなっています。

小郡の竈門三社

竈門三社詣り
ご縁結びの旅

竈門神社(力武)（かまど りきたけ）

承平元年(931)に創建されたと伝えられるお宮。宝満山より分霊勧請して祭祀された玉依姫命と、高良玉垂命の母宮にあたる山下影姫命が祀られている。寛延2年(1749)に記された『寛延記』には「玉母宮、氏神、山下影姫命の神廟他、御跡の経塚と申し伝え候」との記述が残されており、古くから境内は遺跡(経塚または古墳か)として認識されてきたことが分かる。春には境内入り口の藤棚が美しい。

住 小郡市力武1063

竈門神社(西島)（かまど）

玉依姫命が祀られています。江戸時代に西島が三沢から分村したころ、筑前宝満山から宝満宮を分霊勧請して氏神として祭祀。西島竈門神社の楼門(神門)は、大中臣神社と玉垂御子神社とともに小郡の神社に現存する3つの楼門に数えられています。春には境内の八重桜が美しい。

住 小郡市三沢127

小郡市には「力武」「三沢の古賀」「西島」の3か所に「竈門神社」があります。いずれも太宰府市の竈門神社への信仰(宝満信仰)と関わると言われています。ぜひ3つの竈門神社をめぐって、ご縁を繋いでください。

竈門神社 kamado

竈門神社(古賀)（かまど）

住宅街の中に長い参道が伸びるお宮。地元古賀区の氏神として玉依姫命を祀る神社で、縁結びの神様として知られる。宝満山より分霊勧請して祭祀された。創建年は不明だが、元禄10年(1697)の『久留米藩社方開基』に記されていることから、300年以上前にこの地に社が建立されたと推測されている。

住 小郡市三沢5010

大中臣神社（おおなかとみ）

★祭神：天児屋根命（あめのこやねのみこと）

4月中旬～5月上旬に「将軍藤まつり」が開催されます

市の有形文化財に指定された和様唐様の楼門で有名な大中臣神社。大保原合戦で重傷を負った征西将軍懐良親王が、大中臣神社の加護で全快したため、感謝を込めて藤の木を御手植えされた樹齢660年と言われる福童の「将軍藤」(県指定天然記念物)もあります。

住 小郡市福童555

祇園神社（ぎおん）

★祭神：素盞嗚命（すさのおのみこと）

正平8年・文和2年(1353)に府中(現久留米市御井町)から分霊を勧請したと伝えられています。古くは旧甘木線小郡駅付近、現在の古祇園という場所にあったとされ、当時戦乱が続いたうえに疫病の流行も多かったにも関わらず、小郡だけは疫病に罹る人が少く、祇園様の加護として近隣19ヶ村の人々が祈願にお詣りし、疫病がおさまったと伝えられています。慶長元年に小さな社を現在地に移したと言われています。

住 小郡市祇園1丁目1-1

若宮八幡神社（わかみやはちまんじんじゃ）

★祭神：応神天皇

貴楽2年(507)の創建と言われています。古来このあたりは蚊田(賀汰)郷といわれ、応神天皇由緒の地であり、北部九州豪族盟約の地でした。江戸期には源氏である有馬家の氏社となり毎年例祭に祭祀を奉納。明治に村社となり現在に至っています。若宮八幡神社の氏子(下八坂)によって、7月初旬の日曜日に行われる獅子舞は江戸時代発祥と言われ、昭和28年の水害で一時中止となりましたが、昭和46年には復活し伝承を保存しています。市内では最も演曲数の多い獅子舞です。

住 小郡市八坂325